

〔地域特性を活かしたパンジーの鉢物栽培技術の開発〕
寄せ植え素材生産を目指したパンジー・ビオラの播種時期検討

田旗裕也
(江戸川分場)

【要 約】 3月出荷の寄せ植え素材として、「イエロークイン」は10月11日播種が適期である。「F₁ピエナオレンジ」は10月中の播種が適するが、9月まきは多花が見込まれる。

【目 的】

近年のパンジー・ビオラ品種について、春出荷の栽培指針はない。そこで、播種日と開花日・開花数の関連を明らかにし、出荷想定期である3月上旬の生育を明らかにする。

【方 法】

寄せ植え用の素材として高性種パンジー「イエロークイン」と、わい性種ビオラ「F₁ピエナ(R)オレンジ」の2品種を供試した。2023年8月18日から12月4日まで約10日間隔で11回の播種日区を設けた。播種は200穴セルトレイを使用し、播種用土はTM-2単用とした。各播種日区とも播種30~40日後に10.5cm黒ポリポットへ1株1鉢で移植し、以後、換気気温10℃以上、最低3℃加温のハウス内で播種・育苗・栽培を行った。ポット用土は赤土：腐葉土：ピートモス＝5：3：2（容積比）の混合用土とし、基肥は用土100Lあたり成分量でN＝48g、P₂O₅＝152g、K₂O＝45gとした。生育期間中の追肥は、定植10日後にプロミック錠剤肥料（12：12：12）を1個/鉢与え、播種2ヶ月からは2週間に1回の頻度でピータース液肥（20：20：20）をN100~200ppmでかん水代わりに施用した。各播種日区の第1花開花日と出荷想定期である3月10日に生育調査を行った。

【成果の概要】

1. 2023年夏季のハウス内気温は、概ね外気温と等しく推移した。冬季の外気温は延べ72時間の氷点下を記録したが、ハウス内は氷点下にならなかった（図1）。
2. 両品種とも、播種日が遅れるにつれ開花日も遅延した。想定出荷期である3月上旬に第1花を咲かせるためには、「イエロークイン」は10月20日、「F₁ピエナ(R)オレンジ」は11月20日が限界播種日だった（図2）。第1花開花日までの到花日数をみると、9月中の播種に比べ10月以降の播種は顕著に増加した（図2）。
3. 第1花開花までの積算温度は、播種日によって異なったが、両品種とも9月11日播種で最も大きく、10月2日播種で小さかった（図3）。「イエロークイン」は1500~1800℃、「F₁ピエナオレンジ」は1200~1600℃であった。
4. 3月10日の生育は、株張、側枝長、葉長とも、播種日が遅くなると数値は小さくなる傾向があったが、花径への影響は小さかった。「F₁ピエナ(R)オレンジ」の開花数は、10月2日播種が顕著に多かったが11月1日播種でも10花/株が確保されており、実用上の問題は少なかった（表1）。
5. 以上の結果、「イエロークイン」は10月11日、「F₁ピエナオレンジ」は10月中の播種が望ましかった。「F₁ピエナ(R)オレンジ」の9月まきは在圃期間の延長と摘花等の調整労力増加があるものの、開花数が格段に多くなることが明らかとなった。

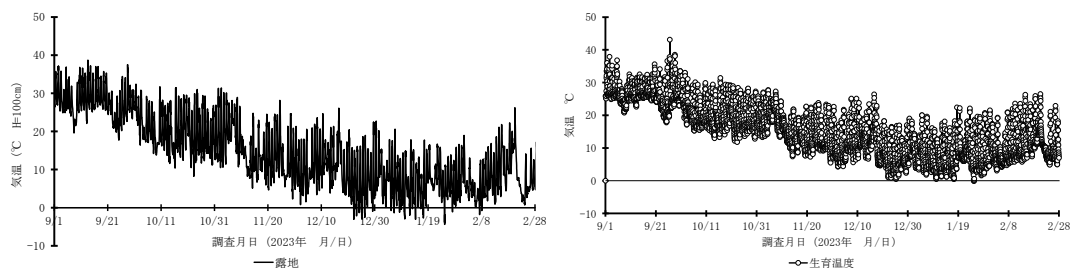


図1 栽培期間中の露地気温と生育温度の推移

注：生育温度は、セル育苗～ポット育苗中の気温推移

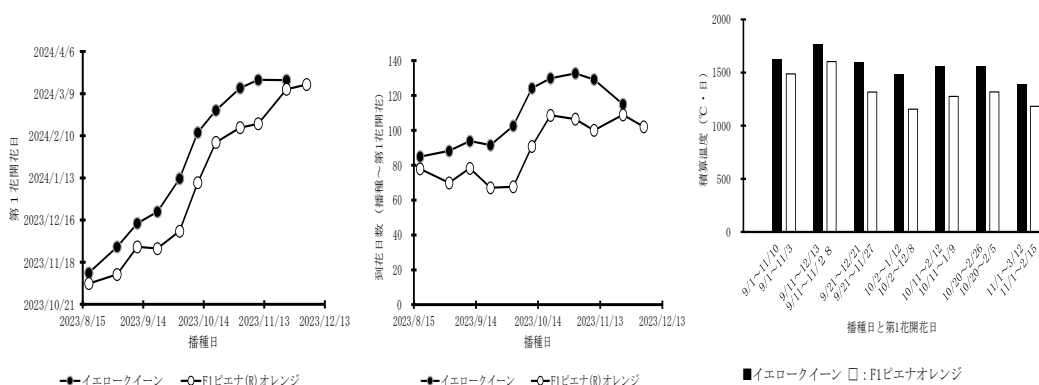


図2 播種日が第1花開花日と到花日数に及ぼす影響

図3 第1花開花までの積算気温

注)TR-52 の int. 60min 積算

表1 3月10日の生育と前年播種日の影響

品種	播種日	平均株張 (cm)	最大側枝長 (cm)	花梗長 (mm)	最大葉長 (含葉柄mm)	花径 (縦横平均mm)	開花数 (/株)	側枝本数
イエロークイーン								
	9/21	38.4 ± 3.5	28.7 ± 5.4	121.6 ± 21.4	107.7 ± 20.7	56.6 ± 5.2	19.7 ± 5.2	7.7 ± 1.3
	10/2	37.5 ± 6.8	26.9 ± 3.9	137.5 ± 22.7	109.3 ± 11.4	61.3 ± 5.4	21.5 ± 5.4	7.5 ± 1.3
	10/11	41.7 ± 7.1	30.7 ± 4.2	137.3 ± 19.2	117.2 ± 17.5	58.9 ± 5.6	17.1 ± 5.6	6.8 ± 0.9
	10/20	22.8 ± 2.8	12.2 ± 2.5	137.6 ± 17.8	91.5 ± 12.0	53.5 ± 7.1	9.0 ± 7.1	4.4 ± 1.7
	11/1	22.0 ± 2.4	9.1 ± 1.9	113.6 ± 25.9	115.7 ± 12.8	62.7 ± 5.1	0.8 ± 5.1	5.4 ± 1.0
	11/10	18.2 ± 1.6	6.4 ± 1.8	93.5 ± 19.1	101.2 ± 13.2	(未計測)	0.1 ± 0.0	4.7 ± 0.9
	11/24	11.9 ± 1.6	1.6 ± 0.5	(未計測)	85.4 ± 13.3	(未計測)	0.0 ± 0.0	2.0 ± 1.4
	12/4	8.4 ± 1.3	1.2 ± 0.6	(未計測)	54.5 ± 7.7	(未計測)	0.1 ± 0.0	1.2 ± 1.2
F ₁ ピエナ®オレンジ								
	9/21	(株老化による傷み顕著のため計測せず)						
	10/2	20.7 ± 1.6	12.6 ± 1.6	97.0 ± 12.4	78.3 ± 9.6	44.6 ± 3.4	38.9 ± 3.4	6.1 ± 2.1
	10/11	21.2 ± 2.4	10.8 ± 1.6	107.0 ± 9.2	71.8 ± 9.4	44.5 ± 2.5	15.7 ± 2.5	5.2 ± 1.2
	10/20	17.1 ± 2.6	7.7 ± 1.3	95.3 ± 11.7	68.4 ± 8.3	41.2 ± 1.8	17.1 ± 1.8	4.6 ± 0.8
	11/1	16.4 ± 1.5	6.8 ± 1.0	88.3 ± 10.7	72.9 ± 7.8	43.8 ± 3.2	11.5 ± 3.2	5.0 ± 1.4
	11/10	15.2 ± 1.6	4.4 ± 0.8	78.6 ± 8.1	75.6 ± 7.2	41.6 ± 2.7	6.2 ± 2.7	4.6 ± 1.2
	11/24	9.7 ± 1.0	1.1 ± 0.5	58.1 ± 5.4	59.0 ± 4.5	35.0 ± 2.3	2.1 ± 2.3	3.2 ± 0.6
	12/4	7.7 ± 1.0	0.7 ± 0.7	43.4 ± 6.6	53.5 ± 9.3	29.4 ± 3.7	1.7 ± 3.7	2.7 ± 0.7

av. は平均値 stdは標準誤差を評す n=20